

指示に従って練習用ファイルを加工しなさい。
文章もよく読みなさい

京教の電源投入後の設定では行頭で tab を入れるとインデントが自動的に設定されてしまいます。
インデントが入ることを避けるため、行頭に全角空白を置いています。カーソルを全角空白の直後に置いた状態で tab を入れて下さい。

Tab とインデント

学籍番号 自分の名前

まず、「ホーム」→「段落：編集記号の表示／非表示」を薄青色に設定し、「表示」→「表示／非表示：ルーラー」にチェックを入れて下さい。

文字の左右位置を確認するための物差しの代わりです

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

123 456 abcde
あい うえお かきくけこ

タブ位置は設定しない
デフォルトの位置 (4, 8, 12...) を利用

1234567890 abcdefg
あいうえお かきくけこ

タブ位置を 6, 20 字に設定

左インデント：3 字
右インデント：3 字
ぶら下げ：7 字

見出し 1

左右のインデントは 3 字です。「見出し 1」の先頭は 4 文字目になります。

見出し 2

ぶら下げは 7 字です。左インデントが 3 字、ぶら下げが 7 字なので、タブ位置を設定しなくても 3+7=10 字にタブ位置が自動設定されます。

見出し 3

1 行目に tab を入れると、2 行目と先頭が揃います。このパターンは、箇条書きなどにも使われます。

ぶら下げ：2 字
(1) (2) (10) の直後に tab を入れる

- (1) 試験問題を作成するときもこのパターンを使います。問題番号の後に文章が続いて 2 行以上になると、(1) の後に tab を入れて左端を揃えます。ぶら下げは 2 字です。
- (2) tab ではなくスペースを入れて、1 行目と 2 行目以降の文章の左端を揃えようとすると、ぶら下げインデントが整数にならず、試行錯誤して決めないといけないので、厄介です。
- (10) タブとぶら下げインデントを使うと、数値が 2 桁になっても大丈夫です。ただし、場合によっては Word の文字詰め機能のため、左端が揃わないことがあります。

タブを設定するとき「配置」を「右揃え 30 字」に設定
この行も同じく右揃え 30 字です。先頭に tab 文字があります
この行も同じです。右端が揃います

タブ位置：右揃え 30 字
行頭に tab を入れる

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

文字の左右位置を確認するための物差しの代わりです